

令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国学力調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることができている。
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容を捉えることができている。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使うことに課題がある。

【算 数】

- 示された資料から必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができている。
- 棒グラフから項目間の関係を読み取ることができている。
- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことに課題がある。

【理 科】

- 電気が通る回路のつくり方に関して理解し、表現することができている。
- 「水は温まると体積が増える」ことを根拠に、海面上位が上昇した理由を予想し、表現することができている。
- 水のしみ込み方の違いについて【結果】や【問題に対するまとめ】を基に、他の条件での結果を予想して、表現することに課題がある。

2 児童〔生徒〕質問紙に関する結果の概要

- PC・タブレットなどのICT機器を活用する力が身に付いている。
- 自分を肯定的に捉えようとする意識が高い。
- 学習したことを日頃の生活の中で活用しようとする意識に課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・全校での授業改善の推進（予習を取り入れた授業）
- ・国語科、算数科で定着が不十分だった内容の重点指導
- ・ゲストティーチャーによる算数科の学習指導の実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・話し合う目的や必然性のある交流活動を位置付けた授業づくり
- ・授業や算数タイムにおける課題内容の見直し
- ・次時へつながる振り返りの場の設定

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・授業で児童がタブレットとノートのいずれを使用するかを自分で選択する場の設定
- ・特別活動及び道徳を除く全教科等において、児童が複数の教員と日常的に関わることができる交換授業の実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・学習したことが生活のどのような場面で活用できるのか考える場の設定